

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第243号 2024年8月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



桶ヶ谷沼でセミの大合唱を鑑賞しませんか？

先月7月18日に梅雨が明けました。最近の梅雨はしとしとと雨が降り続く日はあまりなく、大雨が集中して降るようになったような気がします。

梅雨が明けると桶ヶ谷沼ではいろいろなセミの鳴き声が聞こえるようになりました。桶ヶ谷沼で見つけることができるセミを紹介しします。



アフラセミ

体長は55mm前後で、翅の色は不透明。名前の由来は翅が油紙を連想させる、鳴き声が油を熱したときにでる音に似ているからという説から。



クマセミ

体長は60mmから70mmの大型で、翅の色は透明。名前の由来は黒くて大型のセミであることから。平地の公園や住宅などの木で、午前中大きな声で鳴く。



ミンミンセミ

体長は55mmから63mm程度で、太く短い卵型の体形。森林性のセミで、平地では見られないところもあるが、関東では都市部でも生息している。



ニイニイセミ

体長は32mmから40mm程度。抜け殻は小さくて丸っこく全身に泥がついているので他のセミと区別がつく。梅雨明け後鳴き声を一番に聞くことが多い。



ツクツクボウシ

体長は41mmから47mm程度。森林性ではあるが市街地でも聞くことができる。他のセミが少なくなる8月下旬によく聞く。2種類の鳴き方がある。



ヒグラシ

体長は41mmから50mm程度。平地から山地の薄暗い林の中で明け方や夕方鳴く。他のセミが少なくなる8月下旬に聞こえる鳴き声は物悲しく感じられる。

セミについてのあれこれ きみもセミ博士になろう!!!

- ① 世界には約2000種、日本には30種以上のセミがいます。日本のセミの半数以上は南西諸島に分布しています。
- ② セミは「カメムシ」の仲間です。実はアメンボやタガメもカメムシの仲間です。
- ③ 鳴くのはオスだけです。「求愛」つまりメスに自分の存在を知らせるためです。
- ④ セミは樹皮などに卵を産みます。卵で冬を越し、およそ1年後の初夏に孵化した幼虫は木から降りて土の中にもぐります。そして、数年間土の中で成長します。
- ⑤ 「セミの幼虫は地中で7年間過ごして、やっと成虫になっても、生きていられるのは1週間程度だよ。」と言われていたのですが、地中にいる期間は、ツクツクボウシで1~2年、アブラゼミで3~4年、クマゼミで4~5年のようです。10年以上も地中にいる種類もいるようです。成虫の寿命はやはり10日前後が多いようですが、天敵に襲われずに水分や栄養が確保できれば30日以上も生きることができるようです。
- ⑥ 「セミのオシッコ」と言われているものは、セミが樹液を吸い栄養を採った後の残り物で、ほぼ水に近いもののようです。オシッコをするのには以下の理由が考えられます。
 - ・飛び立つときに身を軽くするため。
 - ・飛び立つとき、瞬間的に筋肉を使ったときのはずみで。
 - ・もともと水をためる機能が弱いから。
- ⑦ セミの鳴く時間は種類によっておおよそ決まっています。ミンミンゼミは午前9時ごろから午後4時頃まで、ツクツクボウシは1日中鳴いていますがピークは夕方、アブラゼミは早朝と11時から夕方まで、ヒグラシは日の出前の明るくなったときと夕方、ニイニゼミは1日中、クマゼミは集団で主に早朝から午前中に鳴くのであるさく感じられます。
- ⑧ セミは夕方から夜にかけて羽化します。羽化を見たいのなら、抜け殻がいっぱいある木を見つけて、夜見に行くといいですよ。
- ⑨ 「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」は奥の細道の作者、松尾芭蕉が出羽の国（山形県）立石寺に参拝した時に詠んだ句として有名ですが、この蟬はニイニゼミではないかと言われています。
- ⑩ 磐田市竜洋昆虫自然観察公園では「昆虫食体験～セミを食べよう～」というイベントを行いました。セミを捕まえて、そのまま素揚げ（食材を小麦粉などの衣をつけずに、そのまま油で揚げること）にして食べる、というイベントです。館長の「こんちゅうクン」によると、エビのような味がするとのことでした。

センター行事「いろいろな工作教室」

- ☆ 日時 9月14日（土） 9：30～11：30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- ☆ 対象 一般（小学生は保護者の同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください）
- ☆ 内容 自然の素材を使って15cm四方の掛時計を作ります。

＊材料費が時計1台につき250円程度かかります。複数名参加の場合、申し込み時に何台作るかを教えてください。

- ☆ 服装・持ち物 作業ができる服装、水筒、タオル、作品を持ち帰る紙袋等
- ☆ 募集人数 10人（先着順）

＊申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ